

2011年 富士チャンピオンレース第2戦

予選 2位 決勝 17位

参加台数 22台

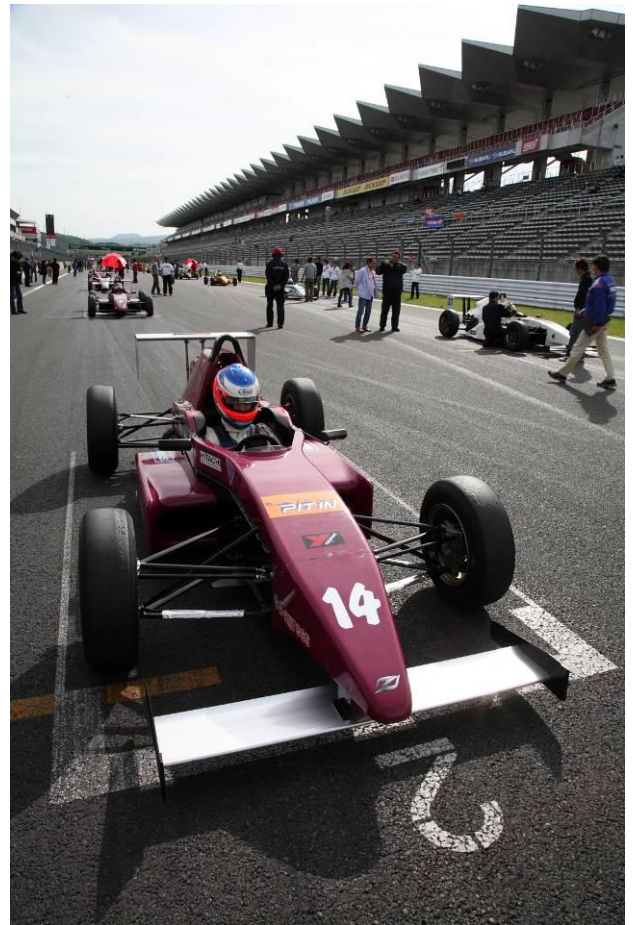
開催日: 5月15日



レーシングドライバー 武平良介 レース報告書

路面コンディション…ドライ 天気…晴れ☀ ベストタイム…1分51秒7

レース前日の土曜日。前回の練習からストレートを伸ばす方向にセットを変えた。思惑通りストレート速度は2〜3キロ速くなった。しかし、同時にコーナリング中にリアのグリップが低くなってしまった。セッティングの変更をし、マシンバランスは良くなり1分51秒7というトップタイムを記録した。更なるタイムアップをのためにセッティングを変更。しかしフロントがインに入らなくなってしまいタイムは新品タイヤのトップと0秒8差の1分52秒0にとどまった。フリー走行最後のセッションではフロントのセッティングを変更。バランスは良くなったもののステアリング操作がシビアになりタイヤも消耗しミスしやすい状態になった。その状態でも前走行と同じ1分52秒0というタイムを3周目に叩き出した。



予戦

Sunday

路面コンディション…ドライ 天気…晴れ☀ ベストタイム…1分51秒1

予選のタイムアタック時には前にマシンが1台しかいない状況でコースインした。前との車間距離を十分に広げクリアな状態を作ることが出来た。しかしアウトラップのダンロップコーナーでブレーキングミスをし3台に前に行かれ、後方には他のマシンが何台もいたため抜くしかなかった。抜きながらも自分のアタック場所とタイヤの1番良い状態を作り出しタイムアタック。1分51秒5というタイムを叩き出し暫定1位に。しかし、すぐに抜き返されて2位に交代。さらには3位にまで順位を落とした。そこで1周クーリングラップを入れ最後のアタック。このときトップタイムは1分51秒1、自分がフィニッシュラインを通過。タイムは1分51秒1でほぼ同タイム。1位かと思ったが同周回に1位のタイムは1分50秒9に塗り替えられていて結局3位と0秒07差の2位に終わった。

路面コンディション・・・ドライ 天気・・・晴れ☀ ベストタイム・・・1分50秒7

決勝レースは上位3台が0秒2以内という僅差でスタートが切られた。上手くスタートを切り2位のまま1コーナーへ。スタート直後の争いで1位と2位の自分が3位以降を少し離す展開になった。予選では負けたもののレースペースでは調子が良かったため、1位のマシンの背後に付きノーズトゥータールのまま周回を重ね1位のマシンと一騎打ちにするつもりだった。しかし1位のマシンが自分をけん制しラインをずらしたりして来る。徐々に3位のマシンが近づいてきたので**早めに1位になって逃げようと作戦を変更し1位のマシンに襲い掛かった**。なかなかパスすることができないまま4周目を迎えた。1位のマシンがヘアピンでミスをし、次のダンロップコーナーで自分にチャンスが巡ってきた。そして**ブロックされながらもインからオーバーテイク**。多少外側に膨らみ並ばれたが、次のコーナーで自分がイン側、その次のコーナーは抜けるようなコーナーじゃないことを考え、素早くマシンの向きを変え立ち上がろうとした。その時、走行ライン外を走ったときに拾ったタイヤカスのせいでグリップ力を失い**接触**。相手マシンはリタイヤとなってしまったが自分は復帰し前のマシンを追走。**1分50秒7というコースレコードを叩き出しながら残り8周位で5台抜き5位でフィニッシュした**。

レース後、すぐにコントロールタワーに呼ばれ接触によるペナルティーで17位となった。



まとめ

- ・土曜日のフリー走行から調子が良く、マシンのセットアップをきちんと1日で終えてレースに望めました。今後も常にベストの状態ですレース決勝日に入れるようにする。
- ・日曜日の予選では、せっかくコースイン時から良いポジションだったのに1周目で自分のミスにより集団の中に入ってしまった。その後は落ち着いてポジション取りが出来たので良かったが、そういうもったいないミスは無くさなければならない。
- ・このレースで初めてタイヤのクーリングラップを使い、きちんと次の周に自己ベストタイムを出すことが出来た。
- ・決勝レースでは自由自在で思い通りに前の車にプレッシャーをかける事が出来た。前の車がミラーを見る事を探り、戦略的に揺さぶりをかけることが出来た。
- ・マシンと自分の調子が良かったので逃げ切りにこだわってしまった感があったが、もっと長くリスクをあまり負わないレース運びをとというのもあった。
- ・タイヤカスを拾うと感覚的にタイヤのグリップの仕方が違って来るように思えた。

最後に前戦から1ヶ月という短い期間の中で、色々とセットアップして頂いたチームの方々、応援して下さいました。優勝という形でお返し出来なかった事を悔しく思っています。必ず、自分のマシンで勝利し優勝の味をこのチームでかみ締めたいです。これからも応援よろしくお願ひいたします。